

農業委員会の委員の推薦・応募状況

番号	推薦・応募の別	推薦を受ける者										推薦をする者							農地利用最適化推進委員推薦・応募の有無
		氏名	年齢	性別	職業	経歴	農業経営の状況				認定農業者等としての認定の有無	農業委員会委員に就任した場合の抱負等又は応募の理由	法人・団体の名称	代表者又は管理者の氏名	法人・団体の目的	構成員の資格、要件等	構成員の人数	推薦の理由	
						職名・役職名等	耕作面積	従事日数(日/年)	従事年数(年)	主な作付作物									
1	推薦	たかはしみちやす 高橋 満康	67	男	農業	S53.3 国立東京教育大学付属坂戸高等学校卒業 S53.4～S63.3 日本国有鉄道に就職 主に乗務員として勤務 H1.4～H31.5 東海旅客鉄道株式会社に就職 主に事務職に従事 H28.12～現在 就農 R2.4～現在 大岡市民活動センター・地域活動推進員 R5.4～R8.4 大岡北部地区水利組合・組合長 R6.4～現在 東松山市農業委員 R8.4～現在 大岡北部地区水利組合・副組合長 R8.9～現在 東松山市農業振興対策協議会委員	12,892㎡ (田5,950㎡、畑6,942㎡)	90	12	水稻、野菜(キャベツ、とうもろこし)	無	私の住む大岡地区では、農業従事者の死去や高齢化と担い手不足による耕作放棄地の拡大が迫ってきております。私自身も耕作不能となった田畑を請け負って耕作をしています。 地域活動等の経験を活かし、農地等の利用の最適化の推進に関する事項、その他の農業委員会の所掌に属する事項に関し、常に公平な立場をもって従事、貢献していきたいと考えます。	東松山市自治会連合会大岡支部	宮田 雅也	市政への協力と民意の反映につとめ、市民の福祉増進と市政の発展に寄与する。	大岡地内各地区区長	14	自身も水稻や野菜の作付を行い、農業に関する技術や知識が豊富である。また、大岡北部地区水利組合の副組合長に就任し、地域の農業者からの人望も厚く、農業事情にも精通しているため。	推薦していない
2	推薦	ふじの 藤野 かおり 香織	47	女	農業	H13.3 国際医療福祉大学医療福祉学部医療経営管理学科卒業 H15.4～H18.3 雪印種苗株式会社千葉研究農場の研修生として勤務 H19.10～ 実家の藤野牧場にて就農 R3.4～現在 東松山市農業委員	100,000㎡ (畑)	365	19	生乳生産(約250t)、牧草、WCS	有 準ずる者	今までの経験を生かし、地域の農業者と農地をうまくマッチングできるよう、お手伝いさせていただきます。東松山市の農業振興の問題点である担い手の高齢化、耕作放棄地の増加、これらをどのように解決するかを、農業委員の立場として考えていきたいと思っています。	東松山市自治会連合会大岡支部	宮田 雅也	市政への協力と民意の反映につとめ、市民の福祉増進と市政の発展に寄与する。	大岡地内各地区区長	14	藤野さんは畜産業を中心に水稻などの農業に従事しており、また令和3年より東松山農業者会NEXTからの推薦で2期務め、知識や経験は豊富である。そして何よりも東松山市の農業について、農業者の高齢化・耕作放棄地の増加等を大変危惧しており、その解消に向けて取り組みたいといった意欲を持っている方です。	推薦していない
3	応募	しまだ やすぞう 島田 安三	73	男	専門サービス業(経営コンサルタント)	S52.3 明治大学政経学部経済学科卒業 S52.4 商工組合中央金庫入庫 H20.6 商工組合中央金庫退職 H20.7 八重洲商工株式会社入社 H25.6 八重洲商工株式会社退職 H25.9 埼玉県農業大学校農業実践コース入校 H25.9 東松山市国民健康保険運営協議会委員(～現在会長) H25.12 埼玉県農業大学校農業実践コース修了 H26.2 島田社会保険労務士事務所(現島田経営労務管理事務所)開業 H26.3 埼玉県農業大学校外部講師 H28.12 東松山市創業支援センター相談員(～現在) H29.3 武蔵野大学大学院人間学研究科人間学専攻修士課程修了 H30.4～現在 東松山市農業委員	—	—	—	—	無	農業従事者の減少、高齢化を受けて耕作放棄地等を含む遊休地は増加の一途をたどっており、農地バンク等により解消を図っているが、必ずしも順調とはいえない。そのため、平成28年4月の農業委員会法改正を受け、「農地等の利用の最適化(担い手への農地利用の集積・集約化、遊休農地の発生防止・解消、新規参入の促進)の推進」が農業委員会の必須業務となった。この業務を行うためには、農業に対する知見が必要であり、農業者以外の者で、中立的な立場で公正な判断をすることができる人材が求められる。私は農業者ではないが、以下の通り、農業に対する知見を持った人材として、農業委員として適していると自己推薦するものである。 現在、埼玉県農業大学校講師として、農業経営・農業労務等を教え、埼玉県の農業経営・就農支援センターの経営支援専門家として県内各地の農家支援を行っている。	—	—	—	—	—	—	—

